

公開セミナー

子どもの貧困／不利／困難を考える

の取り組みと

2015年7月25日(土)13:00-16:30

同志社大学寒梅館203教室

事前申込み不要 参加費無料 受付開始12:30

主催:同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

取り組み

開会の挨拶:埋橋孝文(同志社大学)

Part 1

「貧困／不利／困難に負けない力(レジリエンス)」と自己肯定感

司会:矢野裕俊

1. 阿部彩(首都大学東京)
「子どもの自己肯定感の低下を防ぐ要因はなにか」
2. 小田川華子(首都大学東京)
「児童養護施設退所者の自己肯定感向上の契機」
3. 宮田暢子(堺市こころの健康センター)
「児童養護施設退所者の不利, 困難, 貧困を克服する手立て」
4. 田中弘美(同志社大学大学院)・埋橋孝文
「『生い立ちの整理』にみる子どもの自己肯定感をはぐくむ支援

<質疑応答・ディスカッション>

Part 2

子どもの貧困への多様なアプローチ

司会:埋橋孝文

1. 室住眞麻子(帝塚山学院大学)
「『子どもの貧困と母親の就業』の背景と背後」
2. 田中聡子(県立広島大学)
「反・子どもの貧困の実践から学ぶもの」
3. 山村りつ(日本大学)
「児童養護施設で暮らす子どもたちと親のメンタルヘルス・イシュー」
4. 室田信一(首都大学東京)
「アメリカのヘッド・スタート事業から考える子どもの貧困対策と教育」
5. 劉眞福(プール学院大学)
「民からスタートした韓国スタイルの貧困児童プログラム」

<質疑応答・ディスカッション>

閉会の挨拶:矢野裕俊(武庫川女子大学)